

## 金城学園における高大連携合同研修会報告

日 時：令和3年8月5日（木）10時00分から11時30分

形 式：オンライン研修会（Zoom）

講 師：京都光華女子大学短期大学部 ライフデザイン学科 鹿島 我 教授

参 加：大学18人、短大20人、高校4人、事務13人 合計55人

テーマ：Zoomを使ったオンライン授業の可能性

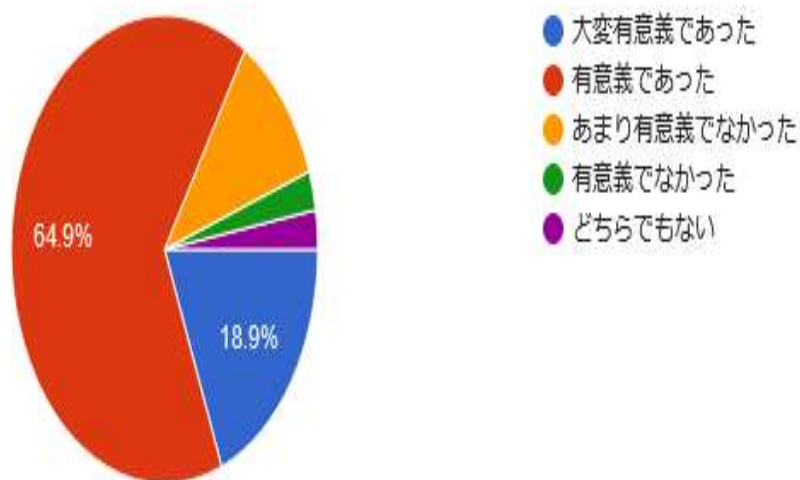
金城学園における高大連携研修会として、今年度はコロナ禍におけるオンライン授業に方法や今後の可能性について、京都光華女子大学短期大学部の鹿島教授をお招きし「Zoomを使ったオンライン授業の可能性」と題しオンライン研修会を開催した。

コロナ禍において鹿島先生が実際に行ってきた授業形態（オンデマンド、リアルタイム、ハイブリッド）を踏まえ、工夫したことや苦勞したことなど詳細に講義いただく。最後に今後、オンラインの特性を活かし小さな単位ではなく全国に広がるような活動を行っていきたいと締めくくったもの。

### アンケート結果

#### 今回の研修会について

37件の回答



1. 今回の研修会でのご意見・ご感想をご自由にお聞かせください。(質問も可)
  - ◇ とても分かりやすく具体的で大変勉強になりました。
  - ◇ 知っている内容ばかりで特に目新しい点もなく、全く参考にならなかった。
  - ◇ 高大連携とあまり関係ない内容だったと思います。
  - ◇ 課題の出し方において、内容をすべて見ないと答えられない工夫等、とても参考になりました。ありがとうございました。
  - ◇ 本講義はオンラインのままに必要な時にあればよかったです。with か after かはわかりませんが、今後のオンラインの使い方に興味があります。
  - ◇ 内容はとてもわかりやすく、よかった。講師決定等をもう少し早くする必要あり。高校への周知を工夫する必要あり。
  - ◇ オンライン授業の具体的な取組がわかって参考になった。オンラインでは、学生側のネット環境の問題で上手くできない場合があると思うが、その場合の対処方法なども内容があればよかった。
  - ◇ 工夫、アイデアをいただいた点が良かった。
  - ◇ 平坦な授業にならないよう工夫します。ありがとうございました。
  - ◇ 部分的に参考になった。
  - ◇ オンライン授業の種類、それぞれの長所短所など勉強になった。ただ、これだけ工夫され、面白い授業をする名物先生がいても学生募集には大苦戦されているわけで、授業改善は何を目的とし、具体的に何の効果があるのか、根底から問い直す必要があると思う。以前より良い授業をしたけれど学生は減少し続け、結果的に学校は消滅しました、で良いのだろうか。
  - ◇ 地域活動、参考になりました。ありがとうございます。
  - ◇ ケーススタディ的な事例集はリアル感があって興味深かったです。
  - ◇ 先生の御経験に基づくお話で分かりやすかったです。なかなか鹿島先生のような御経験をお持ちの教員は少なく、すぐにまねできるものではないと思いますが、現地訪問できない授業では先生が現地に赴き、そして蒔蒔づくりの材料を学生に届けて実際に蒔蒔をつくるというあたり、先生の熱意というものを感じました。そうした点は大いに刺激になったと思います。
  - ◇ 短大の学生が全員パソコンを持っているわけではないため、やりにくさは感じていた。鹿島先生がなさっているような工夫もしているが、どこまで届いているかといった思いはある。今後、研修を参考にして一層の改善をしていかなければいけないと強く感じた。
  - ◇ コロナ禍の授業形態について、先生方の苦労・工夫には頭が下がる思いでいっぱいです。
  - ◇ 遠隔授業に関する取り組みや悩みは大まかに同じであるな、と感じました。
  - ◇ 先生ご自身の授業に対する仕掛けが大変勉強になりました。

- ◇ 自分たちが悩みながらオンライン授業を行っていることが、どのような先生方でも同じ悩みを抱えていることがわかり、共感して話を聞くことができた。
- ◇ 今後もオンラインの授業を工夫しながら、学生に伝えることができたらと考える。
- ◇ 事例紹介という点で参考になりました。
- ◇ 自分が行ったオンデマンド授業を、客観的に振り返るよい機会をいただくことができた。講師が指摘していた「教員のデメリット」について全く同じことを感じていたが、その解決策のヒントをいただくことができ、今後の参考にしたい。また、アフターコロナについての話も興味深かった。
- ◇ Zoom を用いたオンライン授業について参考になる点が多かった。また、コロナ後のオンライン授業の有効活用について、いくつかの短大が連携してそれぞれの名物授業（専門性の高い授業や学生に人気がある授業、有名人を活用した授業等）を配信し、多くの学生が受講できるようにする方法を今後考えていくべきではないかと思った。
- ◇ オンライン授業において対面授業と同等の価値を目指すとともに 90 分の授業の中で抑揚を意識し、学生が飽きさせないものにと工夫されていることに感心させられた。オンライン授業を実施するにあたり、学生自身の PC スキル等は問題なかったか、また問題があった場合のフォロー体制はどうしているのか聞いてみたかった。
- ◇ 今後の遠隔授業を行う上で、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ◇ 遠隔授業の対応は、これまでの経験値が無いため難しいところがあり、参考にすることがありました。私自身の作り込んだオンデマンド授業は、学生に対してボリュームが多い内容で負担が大きくなるように感じることもあり、取り組んでは修正点を見つけてブラッシュアップする日々であり、講師の先生のご意見に我が取り組みと重ねて聞かせていただきました。
- ◇ 学生が興味を持つ内容の授業だと感じた。

2. 今後、どのような研修会を望みますか？ご自由にお書きください。13 件の回答

- ◇ 教育の方法論ではなく、現在、問題となっている教育。社会背景をもとに議論できる内容
- ◇ 入学前教育の実際と課題について
- ◇ ルーブリック
- ◇ オンラインと対面を同時に行うハイブリッドではなく、オンラインを活用した対面とのブレンド型など DX を意識した授業
- ◇ 実習関連でのオンラインの取り組みの工夫
- ◇ 学生募集に関する、理想的ではなく現実的な内容（成功している学校の事例）。
- ◇ オンライン授業の工夫について、色々な講師の研修を希望します。
- ◇ 具体的な事例をお聞きできればと希望します。

- ◇ 現実にオンデマンド授業を作る演習的なものはどうでしょうか。また、学校の枠を越えた授業を行う下地づくりはどうでしょうか。教員の皆さんの省力化につながると思います。コンソーシアム石川との連携が可能になればいいと思います。
- ◇ 基本的な学習を身につけてこなかった学生の、学びの意欲について
- ◇ 「多様性について」個性・違いを認め合うには
- ◇ 高大接続・連携
- ◇ 高大連携、高大接続がうまく機能している高大連携先進校の講演を聞き、参考にしたい。
- ◇ 次年度以降も実施するのであればテーマも含め、大・短・高が互いに話し合った上で決めなければならないと思いました。参加者のことも含め、伝達がうまくいかない部分もありましたので、今後改善できるよう本校でも話し合いをします。今後ともよろしくお願いいたします。

以上